

太子高校の飛翔 その 12

「アクティブ・ラーニング」を生徒の視点で

本年度は、太子高校の「飛翔の年」と位置づけて、「翔る」を合い言葉に教育活動を展開します。この通信で本校の取組みについてお話することで、太子高校が飛翔する様子を知っていただければと考えています。

平成 29 年 1 月 22 日（日）に、龍野・龍野北・太子の三つの高等学校が、合同学校説明会を姫路市の会場で行いました。中学 1, 2 年生とその保護者を対象に実施したのです。初の試みでしたが、約 300 名収容のホールが満員になる盛況でした。姫路市内のみならず宍粟市等遠方からの参加も有り、皆さんの高校進学に対する意識の高さをひしひしと感じた会でした。

その会場での学校説明を、本校では 1 年次生の 2 名が行いました。満員の参加者を前にしても臆することなく、テンポよくはきはきと話す姿は、多くの参加者の方々からだけではなく他の学校の先生や保護者の方々からも、賞賛の言葉（おかげさではないんですよ！）をいただきました。「やはり総合学科の生徒は、発表の機会が多いから、1 年生でこれほどの発表ができるんですね。素晴らしいですね！！」「総合学科って、普通科とどう違うのか、どんな学科なのかよく分からなかったんですが、今日の説明でよく分かりました。生徒さん達のおかげです。」など。太子高校の評判は、生徒によって作られています。

この説明会では、個別相談のブースも設けました。生徒も相談窓口に座って、保護者や中学生からの相談に答えました。その時に出た質問：「アクティブ・ラーニングの授業って、どんなのですか？」

生徒の答え：「中学校の時の授業とは違って、先生は教壇でほとんどなにも教えなくて、生徒同士で話し合いながら答えを考えていくんです。みんなで一斉に先生の説明を聞くより、他の人と話し合いながら考える方がよく理解できますよ。クラスが違っていたりして、あまりよく知らない生徒とも話しをするから、知り合いも増えましたね。」

次の質問：「そんなに話しが自由にできるんだったら、つい雑談になったりしませんか？」

生徒の答え：「雑談してしまうと、その授業の内容が分からなくなって次の時に困るので、雑談にはなりませんね。」（以下、省略します。）

その受け答えの様子を横で見ていた本校の教師のつぶやき。「アクティブ・ラーニングの授業実践についての職員研修は、これから生徒に話してもらった方がよく分かってもらえそうじゃないですか・・・」

本校の授業改革の確かな手応えを感じた一日でした。

ONE SHOT



職員室の外の花壇に、野路菊が咲いています。兵庫県の花です。以前は、群生している所もたくさんあったように記憶していますが、今は、県下の何カ所かで栽培しなければならないほど、数が少なくなっているようです。本校の野路菊は、「群生」とは言いがたいほどささやかな群ですが、それでも、季節毎に可憐な花を咲かせています。この花にも、校務員さんの丹精が込められています。

兵庫県立の高等学校として、大切に守っていききたいものの一つです。